

一般貸切旅客自動車運送事業法令試験問題

令和8年8月実施

【注意事項】

1. 試験時間は、40分です。
2. 試験開始の合図があるまで、問題は開けないでください。
3. 問題用紙は、表紙を含めて5枚です。
4. 問題用紙は、持ち帰らないでください。
5. 不正な行為をされた場合は、直ちに受験を停止し、退場いただきます。
なお、試験は不合格になります。
6. 解答が終わり途中退室を希望される方は、挙手にて係員にお知らせください。
係員が試験問題等を回収した後、他の受験者の迷惑とならないよう静かに退出ください。

※携帯電話等の電源は他の受験者の迷惑となりますので、必ず電源をお切りください。

近畿運輸局

一般貸切旅客自動車運送事業の許可申請に係る法令知識について

- ・以下の各設問の()内に、関係法令を踏まえ、最も適切な語句を〔 〕から選択し、別紙の解答用紙に記入してください。

-
1. 旅客自動車運送事業者は、()以上の運転者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた適性診断を受けなければならない。

[A. 六十歳 B. 六十五歳 C. 七十歳]

-
2. 輸送の安全を確保するための貸切バス選定・利用ガイドラインは、旅行業者、地方自治体、学校関係者等の利用者に貸切バス事業者の選定に際して、運行の安全面のポイントを分かりやすく示すことにより、単純な()比較のみで選ぶのではなく、より安全にも留意した選定を促すことを目的としている。

[A. サービス B. 価格 C. 車両]

-
3. 「旅客自動車運送事業」とは、()に応じ、有償で、自動車を使用して旅客を運送する事業をいう。

[A. 自己の目的 B. 自治体等の要請 C. 他人の需要]

-
4. 運転者の連続運転時間は()時間が限度である。

[A. 2 B. 3 C. 4]

-
5. 旅客自動車運送事業者は、運転者として新たに雇い入れた者に対して、事業用自動車の運行の安全を確保するために遵守すべき事項について特別な指導を行い、かつ、国土交通大臣の認定を受けた()を受けさせなければならない。

[A. 指導教育 B. 健康診断 C. 適性診断]

-
6. 旅客自動車運送事業者は、自動車が転覆し、転落し、火災を起こし、又は鉄道車両と衝突し、若しくは接触した事故であり、死者又は重傷者を生じた場合は、電話その他適当な方法により、()以内においてできる限り速やかに、その事故の概要を運輸監理部長又は運輸支局長に速報しなければならない。

[A. 十二時間 B. 二十四時間 C. 四十八時間]

-
7. 旅客自動車運送事業者は、苦情の申出を受け付けた場合には、営業所ごとに記録し、かつ、その記録を整理して()保存しなければならない。

[A. 半年間 B. 一年間 C. 三年間]

8. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車内に、当該事業者の氏名又は名称及び当該自動車の()を旅客に見やすいように表示しなければならない。

[A. 営業区域 B. 自動車登録番号 C. 許可(免許)番号]

9. 旅客自動車運送事業者は、事業計画の遂行に十分な数の事業用自動車の運転者を常時()しておかなければならない。

[A. 確保 B. 選任 C. 募集]

10. 旅客自動車運送事業者は、その事業用自動車の運転者に対し、主として運行する路線又は営業区域の状態及びこれに対処することができる運転技術並びに法令に定める()に関する事項について適切な指導監督をしなければならない。

[A. 自動車の運転 B. 事業計画 C. 運行管理]

11. 旅客自動車運送事業者は、その使用する自動車について重大な事故があった場合には、()以内に自動車事故報告書を国土交通大臣に提出しなければならない。

[A. 十五日 B. 三十日 C. 六十日]

12. 一般旅客自動車運送事業者は、運賃及び料金並びに()を営業所に公示しなければならない。

[A. 就業規則 B. 運送約款 C. 運行管理規程]

13. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者が乗務した場合は、当該自動車の瞬間速度、運行距離及び運行時間を()により記録し、かつ、その記録を三年間保存しなければならない。

[A. 乗務記録 B. 運行記録計 C. 運行指示書]

14. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運転者等ごとに、一定の様式の()を作成し、これを当該運転者等の属する営業所に備えておかなければならない。

[A. 履歴書 B. 乗務員等台帳 C. 乗務員証]

15. 旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者は、乗務しようとするとき及び乗務を終了したときは、当該旅客自動車運送事業者が行う()を受け、報告をしなければならない。

[A. 点呼 B. 確認 C. 面談]

16. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車を()しなければならない。

[A. 常に清潔に保持 B. 可能な限り清潔に C. 運行のたびに清潔に]

17. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車に係る事故が発生した場合には、乗務員等の氏名等の記録を当該事業用自動車の運行を管理する営業所において()保存しなければならない。

[A. 六ヶ月間 B. 一年間 C. 三年間]

18. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の乗務を終了した運転者に対し対面により点呼を行い、当該事業用自動車、道路及び()について報告を求めなければならない。

[A. 運賃収入 B. 運行状況 C. 健康状態]

19. 旅客自動車運送事業者は、()に対し、輸送の安全及び旅客の利便を確保するため誠実に職務を遂行するよう指導監督しなければならない。

[A. 乗務員等 B. 従業員 C. 運行管理者]

20. 旅客自動車運送事業者は、毎事業年度の経過後()以内に管轄する地方運輸局長(国土交通大臣)に当該事業年度に係る事業報告書を提出しなければならない。

[A. 三十日 B. 六十日 C. 百日]

21. 旅客自動車運送事業者は、事業用自動車の運行を中断したときは、当該自動車に乗車している()適切な処置をしなければならない。

[A. 事業者のために B. 旅客のために C. 乗務員等のために]

22. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、運転者等が事業用自動車の運行の業務に従事したときは、運転者等の氏名等の事項を運転者等ごとに記録させ、かつ、その記録を()保存しなければならない。

[A. 六ヶ月間 B. 一年間 C. 三年間]

23. 旅客自動車運送事業者は、アルコール検知器を営業所ごとに備え、()保持するとともに、運転者の酒気帯びの有無について確認を行う場合には、運転者の状態を目視等で確認するほか、当該運転者の属する営業所に備えられたアルコール検知器を用いて行わなければならない。

[A. 常時有効に B. 運行管理者が C. 乗務員が]

- 一般旅客自動車運送事業者(路線定期運行を行う一般乗合旅客自動車運送事業者を除く。)はその事業を休止し、又は廃止しようとするときは、その()前までに、その旨を国土交通大臣に届け出なければならない。
- 24.

[A. 三十日 B. 六十日 C. 九十日]

- 旅客自動車運送事業者は、()状態にある乗務員等を事業用自動車の運行に従事させてはならない。
- 25.

[A. 運転が可能な B. 集中力が欠落した C. 酒気を帯びた]

- 一般貸切旅客自動車運送事業に従事する自動車運転者の一日の拘束時間は十三時間を超えないものとし、当該拘束時間を延長する場合であっても、拘束時間の上限は()とすること。
- 26.

[A. 十五時間 B. 十六時間 C. 十八時間]

- 道路運送法の目的は道路運送の()の利益の保護及びその利便の増進を図るとともに、道路運送の総合的な発達を図り、もって公共の福祉を増進することである。
- 27.

[A. 利用者 B. 事業者 C. 申請者]

・以下の文章のうち正しいものには○印を、誤っているものには×印を別紙の解答用紙に記入してください。

28. 一般旅客自動車運送事業者は、旅客に対し、不当な運送条件によることを求めてはならない。
-

29. 一般貸切旅客自動車運送事業者は、営業区域内から営業区域外への運送は行うことができるが、営業区域外から営業区域内への運送は行うことができない。
-

30. 一般貸切旅客自動車運送事業の運賃及び料金は、利用者との間の契約に基づき運送ごとに設定し、運送終了後に国土交通大臣に報告しなければならない。
-

一般貸切旅客自動車運送事業の法令試験の解答用紙

申請者名

受験者名

採 点

点

(問題1～27は【A・B・C】のいずれかを記入してください。)

問題 1	問題 2	問題 3	問題 4	問題 5	問題 6	問題 7	問題 8	問題 9
B	B	C	C	C	B	B	B	B

問題 10	問題 11	問題 12	問題 13	問題 14	問題 15	問題 16	問題 17	問題 18
A	B	B	B	B	A	A	C	B

問題 19	問題 20	問題 21	問題 22	問題 23	問題 24	問題 25	問題 26	問題 27
B	C	B	C	A	A	C	A	A

(問題28～30は【○・×】のいずれかを記入してください。)

問題 28	問題 29	問題 30
○	×	×